



# 2026年3月期第3四半期 決算説明資料

2026年2月3日

株式会社サンクゼール（証券コード：2937）



# 愛と喜びのある 食卓をいつまでも

Lasting love and joy at your table



**01 | 2026年3月期第3四半期 連結決算**

**02 | 販売チャネル別業績**

**03 | 連結財務状況ほか**

**04 | 2026年3月期 事業方針進捗**

**05 | Appendix**

# 01 | 2026年3月期第3四半期 連結決算

## 02 | 販売チャネル別業績

## 03 | 連結財務状況ほか

## 04 | 2026年3月期 事業方針進捗

## 05 | Appendix

# ハイライト

## 売上高

15,411 百万円

前年同期比 +5.2%  
(前年同期 14,648 百万円)

## 売上総利益

5,561 百万円

前年同期比 +8.8%  
(前年同期 5,112 百万円)

## 営業利益

640 百万円

前年同期比 +4.1%  
(前年同期 614 百万円)

## 四半期純利益

480 百万円

前年同期比 +58.8%  
(前年同期 302 百万円)

**売上高は前年同期比で5.2%の増加。ホールセールとグローバルの売上高が堅調に推移。**

- 店舗(直営・FC)売上高は、既存店※1のお客さま数(前年同期比で93%)の減少が要因となり、前年同期比1.8%の減少。
- EC売上高は前年同期比5.6%の減少。
- ホールセールは大手小売チェーンの販売が回復し、前年同期比22.4%の増加。
- グローバルは米国及び台湾での売上増により、前年同期比39.7%の増加。

**売上総利益率は36.1%となり、前年同期比で1.2pt増。**

- 利益率の高い商品群の販促活動推進やFC卸価格の適正化等により、売上総利益率が改善。

**営業利益率は4.2%となり、前年同期比横ばい。**

- 売上総利益が増加した一方で販管費も増加。

**四半期純利益は、前年同期比で58.8%増。**

※1 当社グループは、開店後18カ月以上経過した店舗を「既存店」としております。

連結業績概要

(単位:千円)	3Q累計期間 (2025/4~2025/12)			3Q会計期間 (2025/10~2025/12)		
		前年実績	前年同期比		前年実績	前年同期比
売上高	15,411,760	14,648,352	5.2%	5,735,682	5,439,383	5.4%
売上原価	9,850,326	9,536,282	3.3%	3,650,261	3,517,106	3.8%
売上総利益	5,561,434	5,112,070	8.8%	2,085,421	1,922,276	8.5%
売上総利益率	36.1%	34.9%	+1.2pt	36.4%	35.3%	+1.1pt
販管費	4,921,374	4,497,370	9.4%	1,709,767	1,542,947	10.8%
営業利益	640,059	614,700	4.1%	375,653	379,328	▲1.0%
営業利益率	4.2%	4.2%	+0.0pt	6.5%	7.0%	▲ 0.5pt
経常利益	691,223	668,994	3.3%	421,772	458,640	▲8.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	480,886	302,854	58.8%	317,260	301,397	5.3%

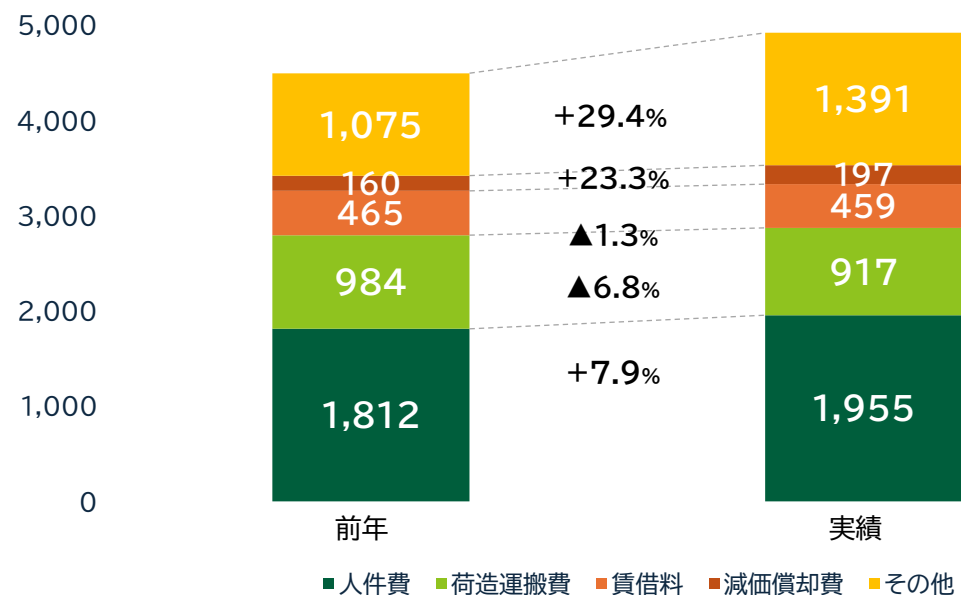
# 販管費の状況

販管費は前期同期比で424百万円(9.4%)の増加。

- 人件費 …… バースアップの実施等により、前年同期比で143百万円(7.9%)の増加
- 荷造運搬費 … 商品運搬の見直しやセット加工の内製化等により、同66百万円(6.8%)の削減
- 減価償却費 … 直営の新店出店や直営店舗の改装費、SCIの事業譲受に関する費用等の計上により、同37百万円(23.3%) の増加
- その他 …… グローバル事業の売上アップに向けた戦略的な販促費の増加等により、同315百万円(29.4%)の増加

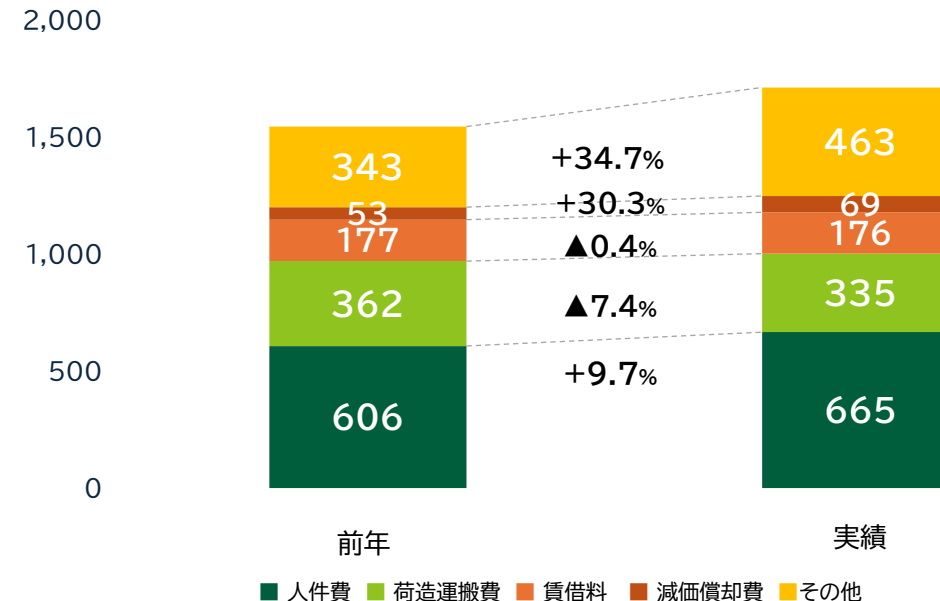
第3四半期連結累計期間(2025/04～2025/12)

(単位:百万円)



第3四半期連結会計期間(2025/10～2025/12)

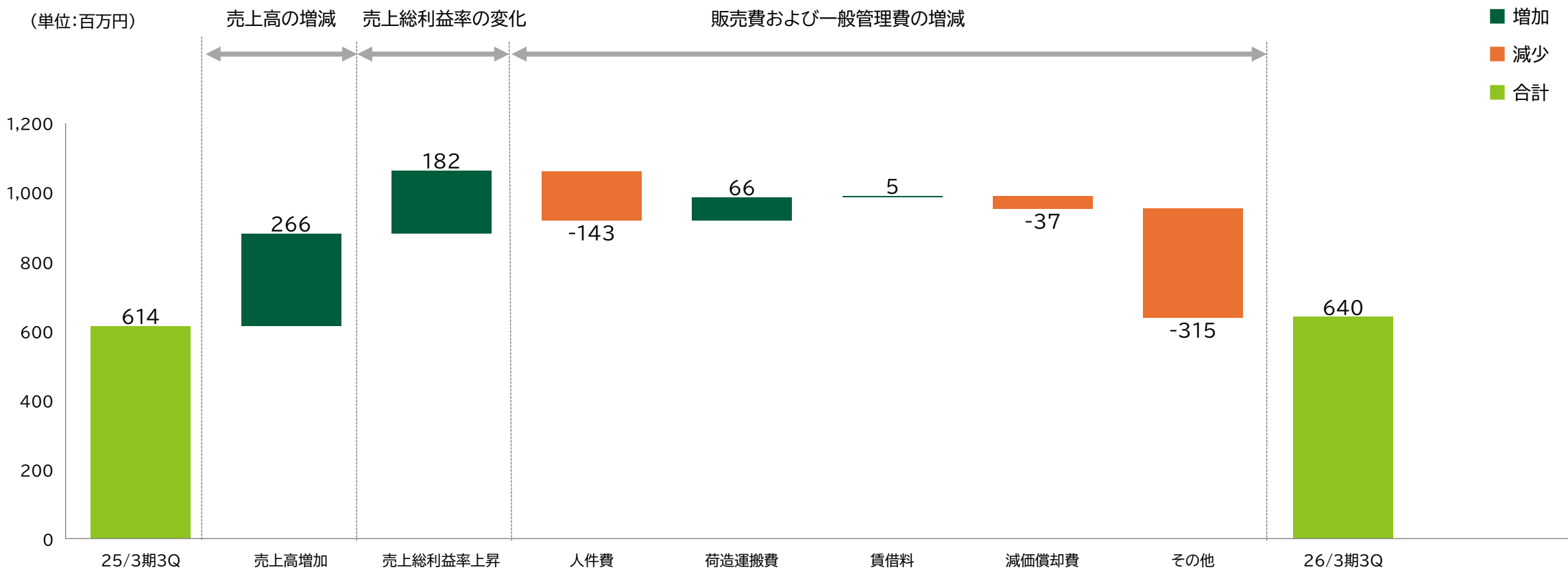
(単位:百万円)



# 連結営業利益 前年同期比

原材料価格の高騰が続くも、利益率の高い商品群の販促活動推進やFC向け卸価格の適正化等により、売上総利益率が改善。一方で、人件費やSCIの増収に伴う販促費等による販管費の増加により、営業利益は前年同期比で25百万円の増加に留まる。

連結営業利益の増減要因



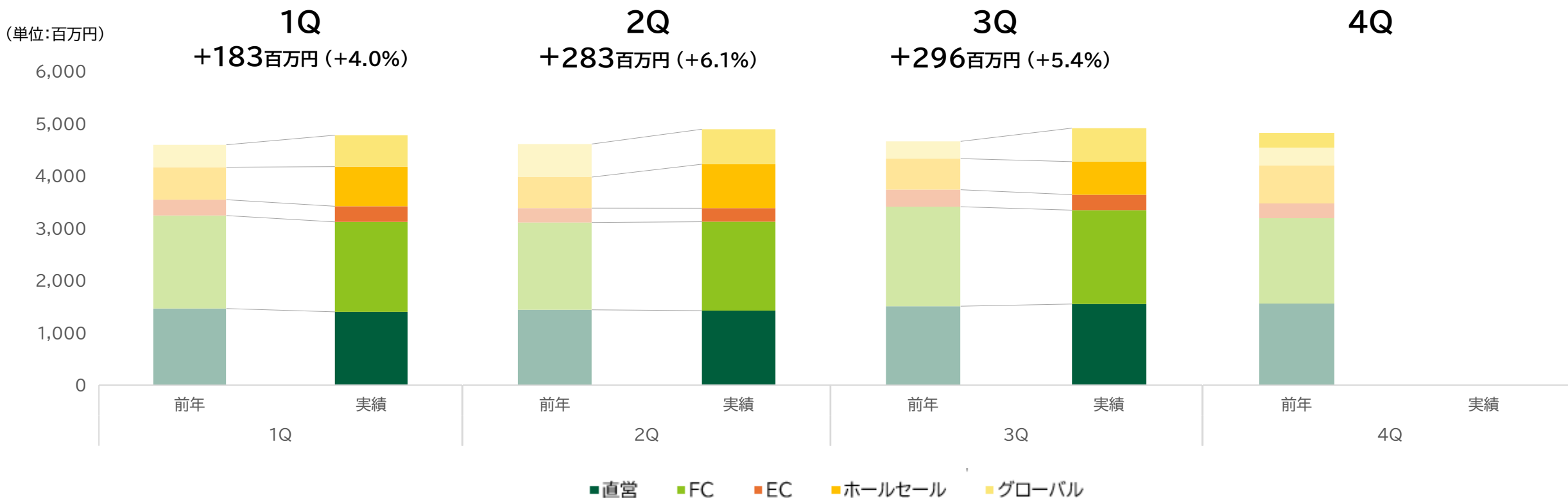


# 連結売上高推移

第1～3四半期で売上高は前年同期比で増加。

- ホールセール、グローバルが全体の売上高を牽引。
- BtoCの販売チャネルである店舗(直営・FC)及びECの売上高は、お客さま数の減少等により微減傾向。

## 連結売上高の四半期実績



01 | 2026年3月期第3四半期 連結決算

02 | **販売チャネル別業績**

03 | 連結財務状況ほか

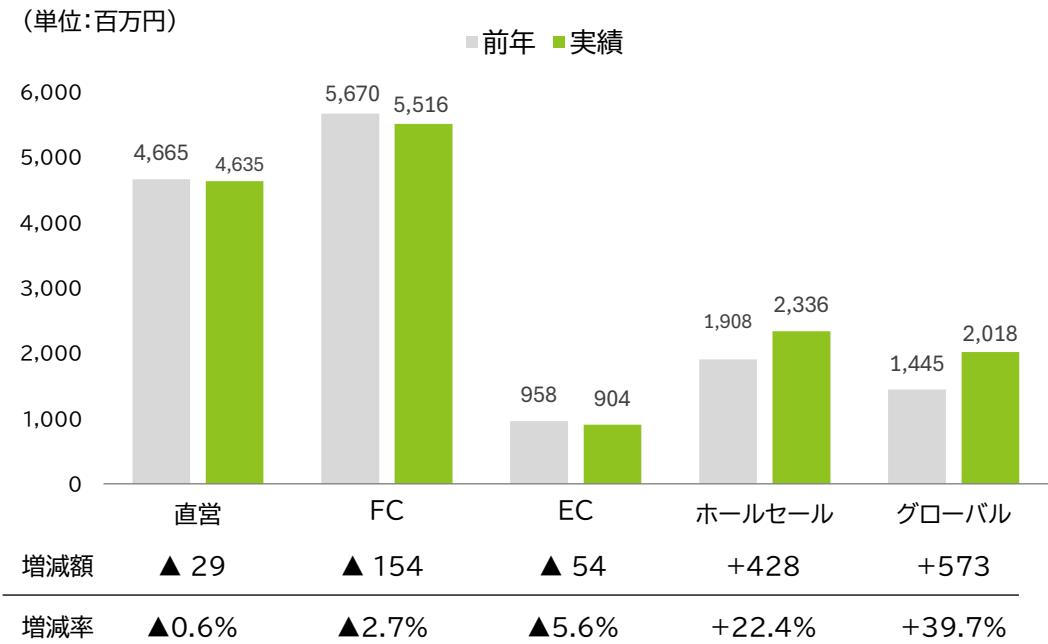
04 | 2026年3月期 事業方針進捗

05 | Appendix

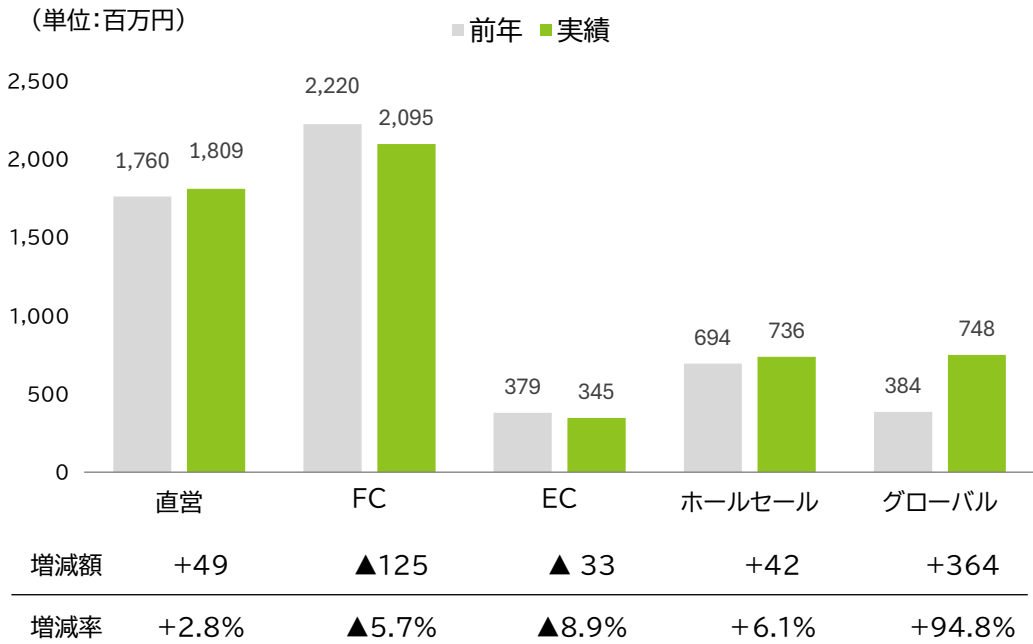
# 販売チャネル別売上高

- 店舗（直営・FC）…… お客さまの購買行動の変化等、外部環境の影響によるお客さま数の減少により、直営とFCを合計した店舗の前年同期比は1.8%の減少。
- EC …………… ECサイトでの購買率の低下により、売上高は前年同期比5.6%の減少。
- ホールセール ……… 大手小売チェーンに対する商品ラインナップの見直しと充実、お客様ニーズ起点の商品開発等により販売力が回復し、前年同期比で22.4%増を達成。
- グローバル …………… 米国・台湾での売上が堅調に推移しており、売上高は前年同期比で39.7%の増加。

第3四半期連結累計期間(2025/4～2025/12)



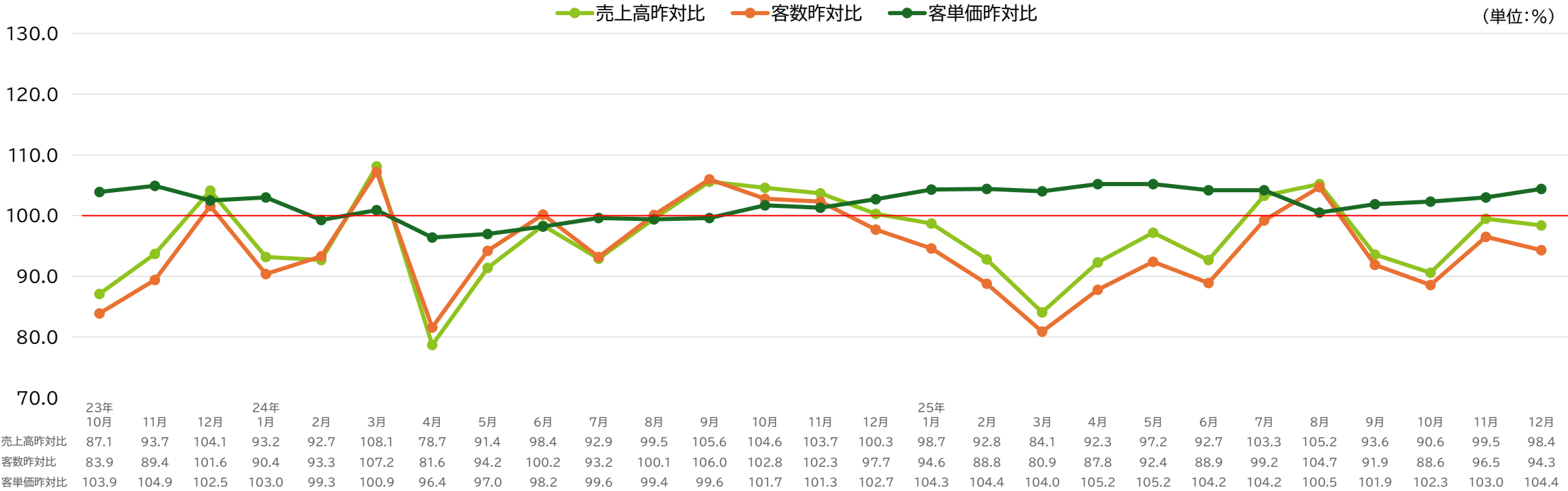
第3四半期連結会計期間(2025/10～2025/12)



# 既存店 売上高・客数・客単価 推移

既存店※1お客さま数は、食品価格の高騰等によるお客さまの購買行動の変化等、外部環境の影響を受けて減少傾向が続く。  
一方でお客様単価は高水準を維持。

既存店 売上高・客数・客単価 昨対比 推移 ※1



※1 当社グループは、開店後18カ月以上経過した店舗を「既存店」としております。

# 業態別店舗数

「久世福商店」業態で10店舗(うち5店舗は「サンクゼール」からの業態変更による)、「サンクゼール」業態で1店舗を新規出店した一方、「サンクゼール」業態で3店舗を退店し、2025年3月末からは3店舗の純増。

(単位:店舗)

業態名	区分	2025年3月末	増加	減少	2025年12月末
サンクゼール	直営店	9	1	6	4
	FC加盟店	3	-	2	1
	計	12	1	8	5
久世福商店	直営店	43	7	-	50
	FC加盟店	120	3	-	123
	計	163	10	-	173
全業態合計	直営店	52	8	6	54
	FC加盟店	123	3	2	124
	計	175	11	8	178

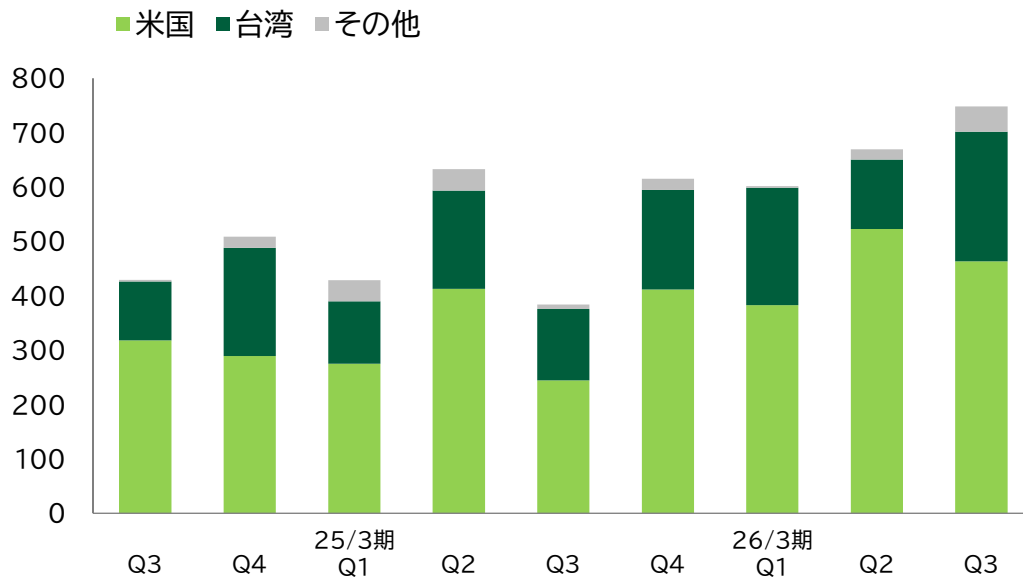


# グローバルの状況：国別売上高

- 米国……KUZE FUKU & SONSの売上増やBonnie's Jams、KELLY'S JELLYの売上計上により、売上高※1,2は前年同期比46.9%の増加。
- 台湾……米系大手小売チェーンへの商品開発による取扱品の増加により、売上高は前年同期比で36.4%の増加。
- その他…主に韓国、オーストラリア、カナダ、香港での取引となり、売上高は前年同期比21.9%の減少。

## 売上高推移

(単位:百万円)

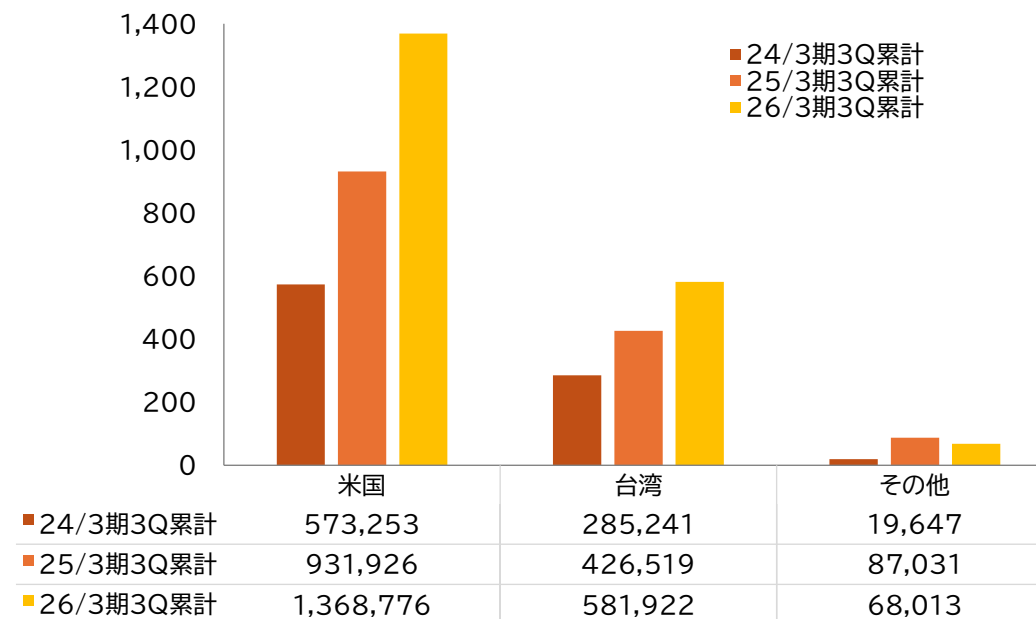


※1 米国子会社における25年1月～9月が該当

※2 当連結会計年度において、米国子会社損益の換算に用いた米ドル期中平均レートは148.08円(前年同期は151.46円)

## 国別売上高推移 ※3

(単位:千円)



※3 最終販売国別に集計しております。

01 | 2026年3月期第3四半期連結決算

02 | 販売チャネル別業績

**03 | 連結財務状況ほか**

04 | 2026年3月期 事業方針進捗

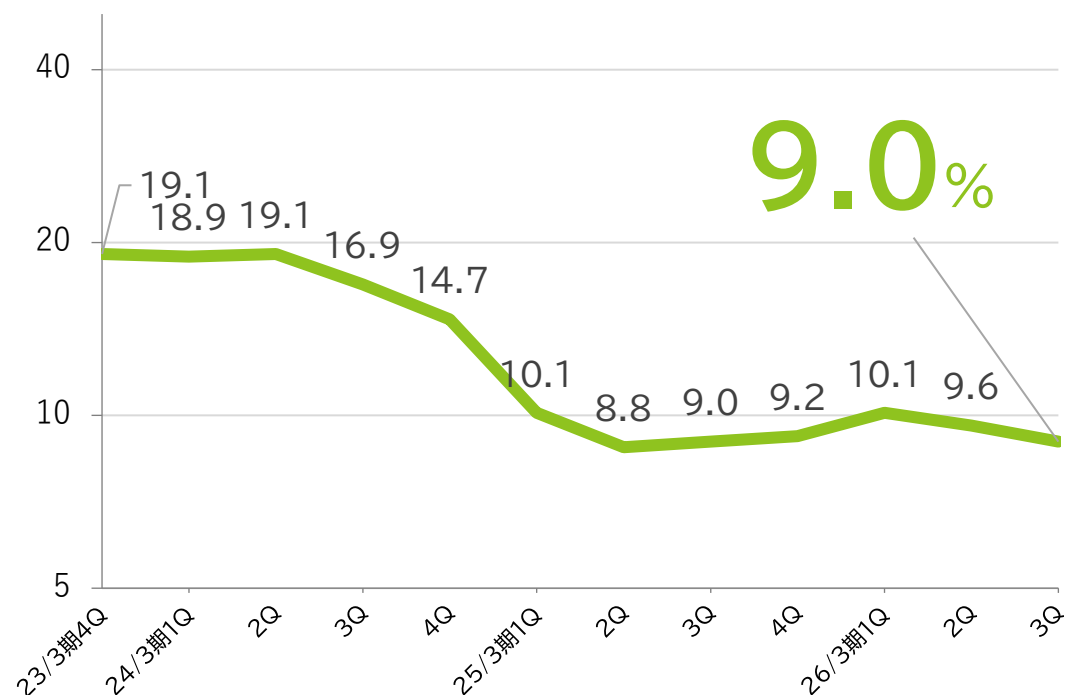
05 | Appendix

貸借対照表

(単位:千円)	2025年3月末	2025年12月末	
			前期末比
現金及び預金	1,936,046	2,229,458	15.2%
売掛金	1,995,898	2,695,578	35.1%
棚卸資産	2,008,426	2,220,070	10.5%
その他流動資産	183,187	108,850	▲40.6%
貸倒引当金	▲484	▲690	42.7%
流動資産合計	6,123,073	7,253,267	18.5%
固定資産合計	3,122,255	3,619,542	15.9%
資産合計	9,245,329	10,872,809	17.6%
負債合計	4,284,156	5,900,586	37.7%
純資産合計	4,961,173	4,972,222	0.2%
自己資本比率	53.6%	45.7%	▲7.9%

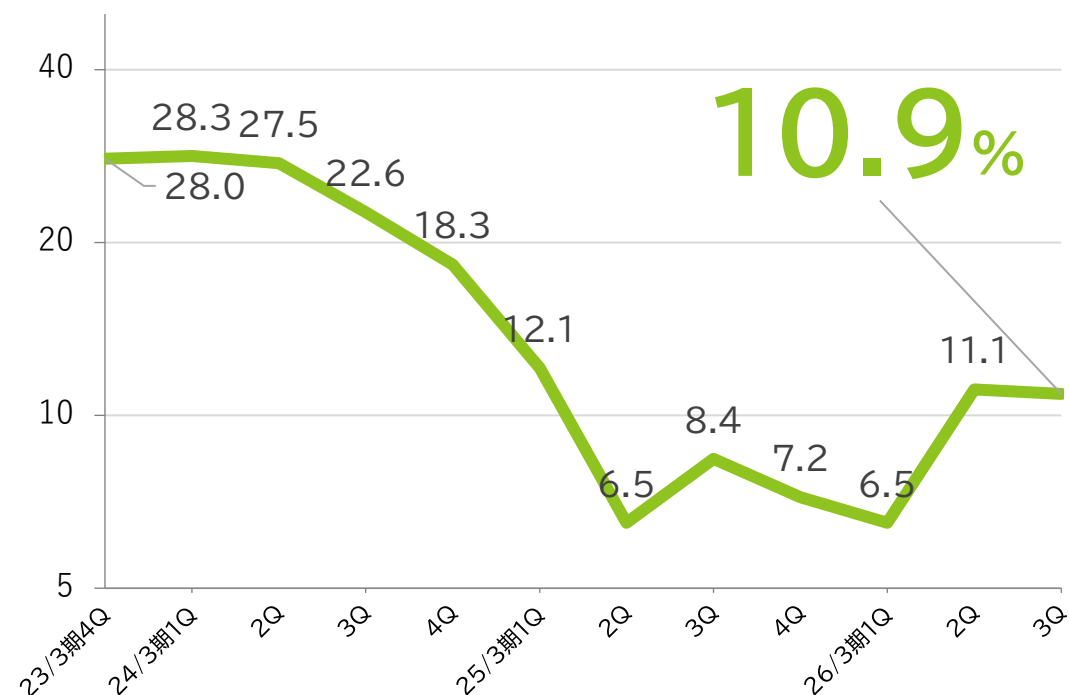
# ROIC・ROE

## ROIC (直近12カ月間)



$$\text{計算式} = \frac{\text{営業利益} \times (1 - \text{実効税率})}{(\text{株主資本} + \text{有利子負債})}$$

## ROE (直近12カ月間)



$$\text{計算式} = \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{\text{自己資本}}$$

# 2026年3月期 連結業績予想に対する進捗率

2026年3月期連結業績予想に対するグループ業績及びチャネル別売上高の進捗は以下の通り。

## 連結業績進捗

- 売上高…………… 順調に推移。
- 営業利益…………… 売上総利益率の改善と販管費の圧縮を継続。
- 経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益 …… 為替差益は40百万円。

単位:百万円	3Q(2025/04~2025/12)		
		通期連結業績予想	進捗率
売上高	15,411	20,716	74.4%
営業利益	640	918	69.7%
営業利益率	4.2%	4.4%	
経常利益	691	916	75.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	480	484	99.2%

## 販売チャネル別売上高進捗

- 直営及びFC …… 既存店のお客さま数増に向けた各種施策を推進中。
- EC…………… デジタル広告等による認知向上と新規顧客の獲得、サイトブラッシュアップによる購買率の向上。
- ホールセール …… 取引先ポートフォリオの拡大により事業リスクを分散、安定成長を目指す。
- グローバル…………… 米国既存ブランドの売上増と、アジア及びその他地域の販路拡大を推進。

単位:百万円	3Q(2025/04~2025/12)		
		通期連結業績予想	進捗率
直営	4,635	6,600	70.2%
FC	5,516	7,544	73.1%
EC	904	1,329	68.0%
ホールセール	2,336	2,773	84.2%
グローバル	2,018	2,469	81.7%
合計	15,411	20,716	74.4%



01 | 2026年3月期第3四半期連結決算

02 | 販売チャネル別業績

03 | 連結財務状況ほか

**04 | 2026年3月期 事業方針進捗**

05 | Appendix

# 2026年3月期事業方針

## 課題への取組み

- 久世福商店客数増加への取組み

## 事業成長への取組み

- グローバル事業の成長
- 新規事業の確立
- 国内外のM&Aによる食のSPAモデル強化

# 2026年3月期事業方針

## 課題への取組み

- 久世福商店客数増加への取組み

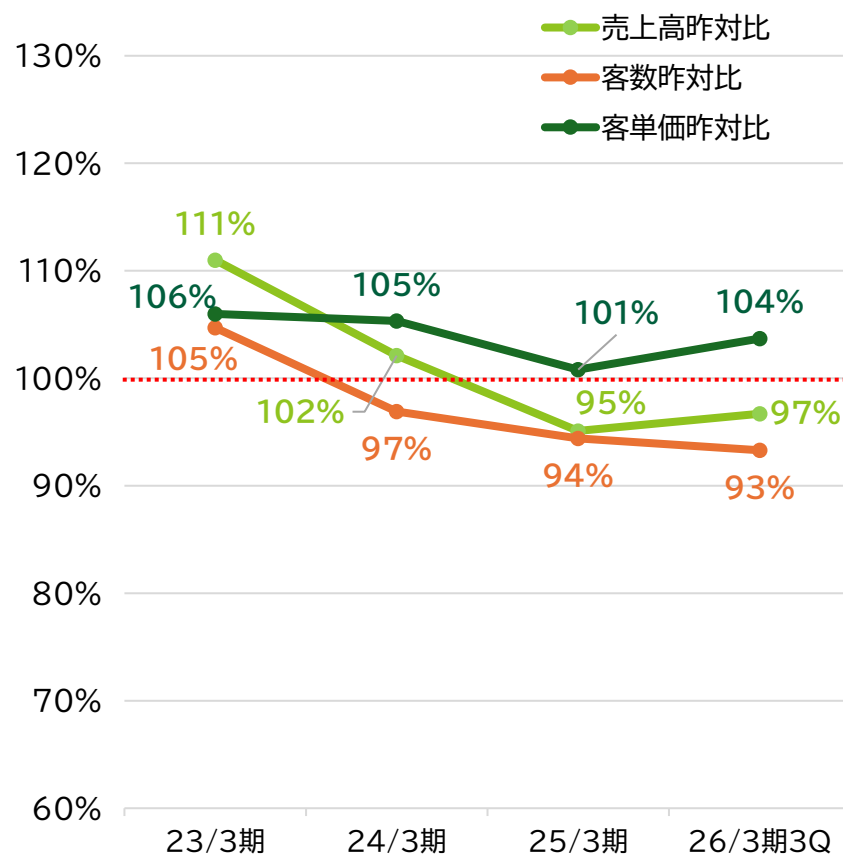
## 事業成長への取組み

- グローバル事業の成長
- 新規事業の確立
- 国内外のM&Aによる食のSPAモデル強化

# 久世福商店客数増加への取組み

久世福商店既存店の客数減への取組み推進し、売上高の回復を目指す。

## 現 状

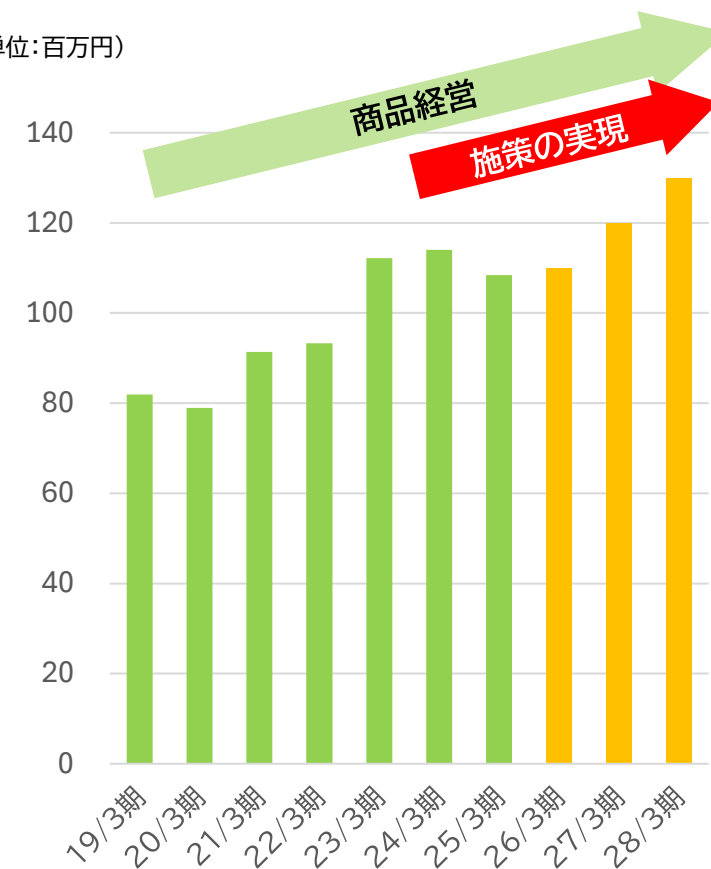


## 施策と期待する成果

- 売り場改革の推進
- MD戦略の推進
- CRM強化
- 商品経営強化
- 施策実現のための組織変更

- 既存店平均年商を1.2倍に
- ロイヤル顧客数3倍に

(単位:百万円)



# 2026年3月期事業方針

## 課題への取組み

- 久世福商店客数増加への取組み

## 事業成長への取組み

- グローバル事業の成長
- 新規事業の確立
- 国内外のM&Aによる食のSPAモデル強化



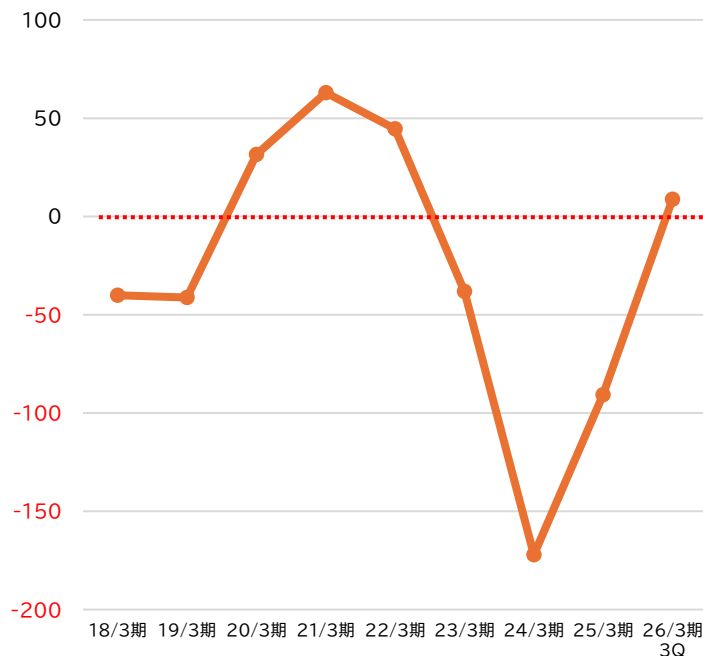
# グローバル事業の成長 ①SCI事業の拡大

SCI事業は営業利益が黒字に。更なる事業拡大を目指す。

## 現 状

### 営業利益推移

(単位:百万円)



## 施策と期待する成果

- M&Aや営業強化によるクロスセリングの強化
- 製造工場での生産性向上

### 各ブランドの小売店舗数

(単位:店舗)



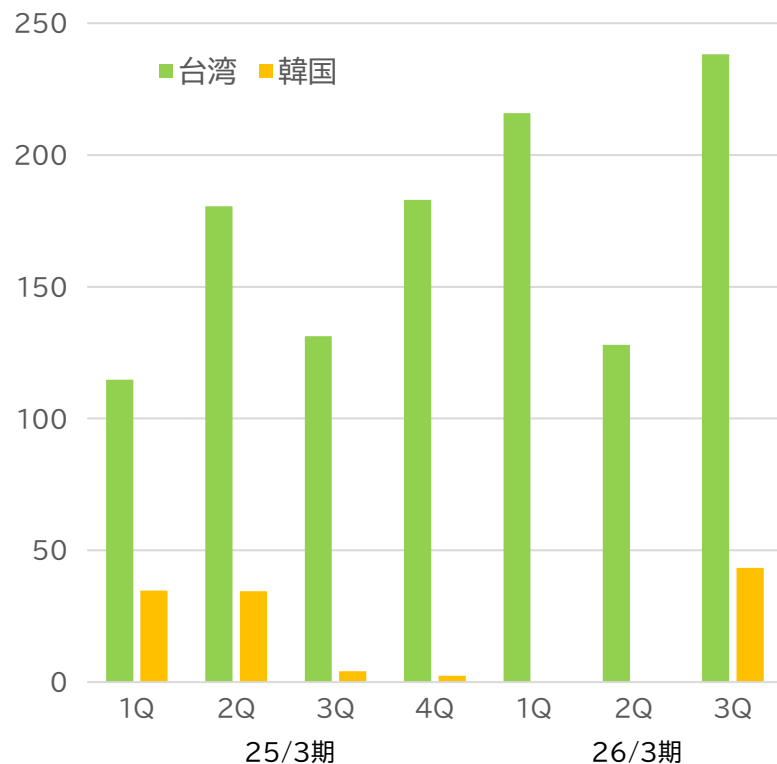
## グローバル事業の成長 ②アジア事業の拡大

アジア事業の基盤強化に向けた施策を継続。

### 現 状

#### 台湾及び韓国 四半期売上高推移

(単位:百万円)



### 施策と期待する成果

- 台湾でのマーケット調査及び現地バイヤーとのコミュニケーション強化
  - ▶ 台湾での小売販路拡大及び取扱い商品増加
- 韓国での法人設立(25年9月)
  - ▶ 販促活動拠の確立と、韓国のうまいものを世界に
- 東南アジアの製造拠点探索
  - ▶ アジア地域における製造拠点の確保



韓国 新世界百貨店催事



台湾\_Lopiaコーナー

# 新規事業の確立

全国の観光エリア×菓子事業による新規事業がスタート。

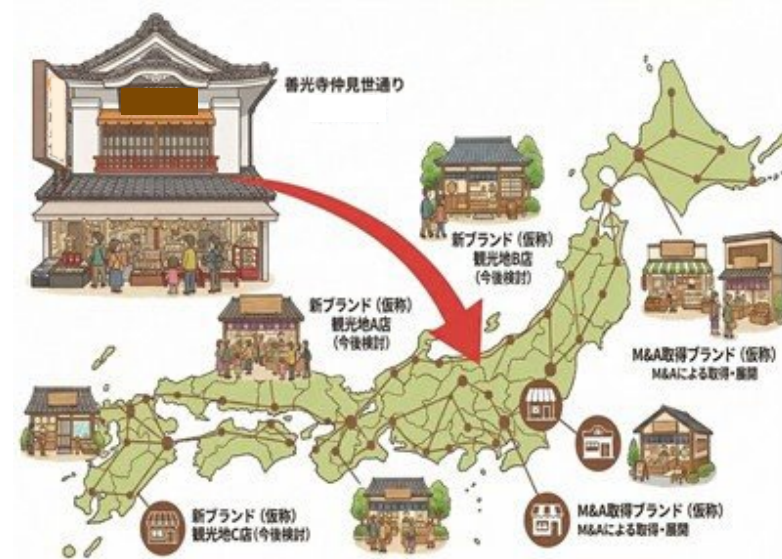
## 現 状

- 菓子分野における新規事業の立上げ
- 長野市善光寺仲見世の物件確保
- ブランドコンセプトの決定
- 名物菓子の開発



## 施策と期待する成果

- 2026年秋 善光寺参道にて開業予定
- 善光寺をモデルとし、全国の観光エリアにおける名物菓子の創出
- 地域活性及び食文化継承による地方創生
- 事業継承問題の解決

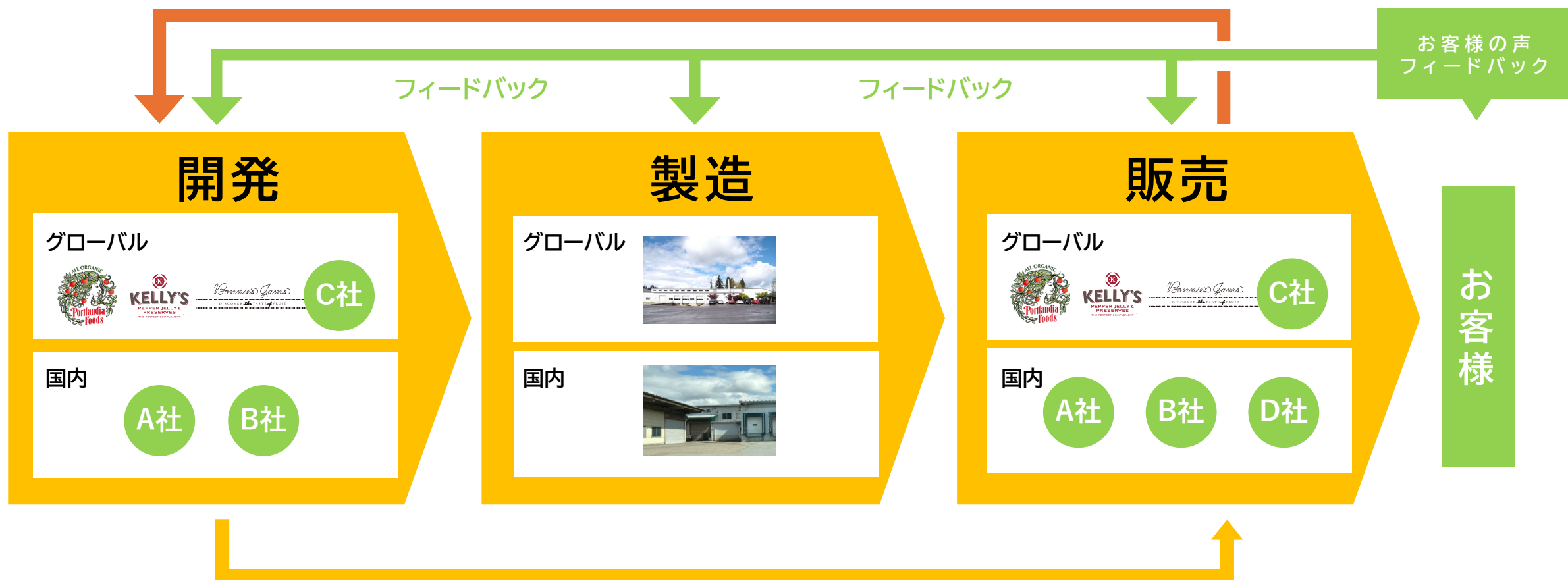


イラストはイメージ

# 食のSPAモデル強化

食のSPA強化のため、開発機能、製造機能、販売機能の観点で、親和性の高い企業のM&Aを推進。

■ 国内外においてM&Aターゲットを拡充し、開発、製造、販売全ての機能において食のSPA機能を強化



01 | 2026年3月期第3四半期連結決算

02 | 販売チャネル別業績

03 | 連結財務状況ほか

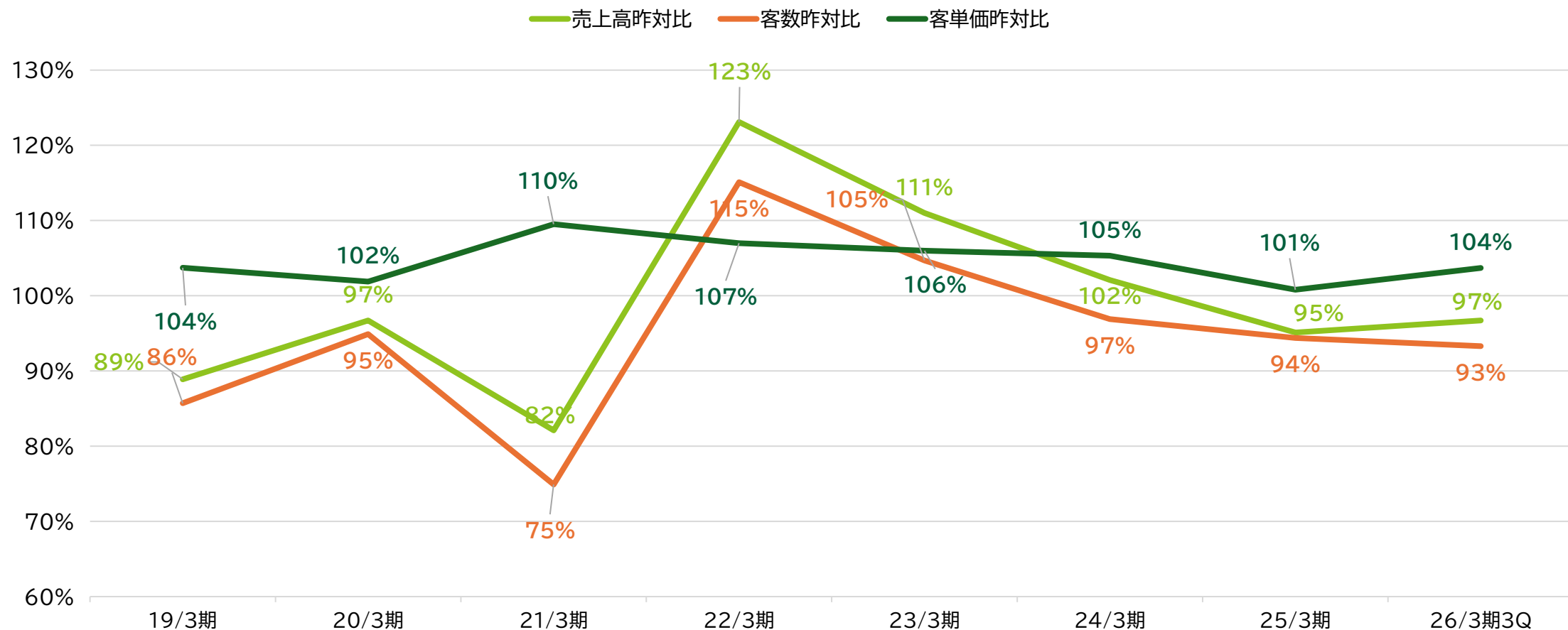
04 | 2026年3月期 事業方針進捗

05 | **Appendix**



# 既存店 売上高・客数・客単価 推移

既存店 売上高・客数・客単価 昨対比 推移 ※1,2



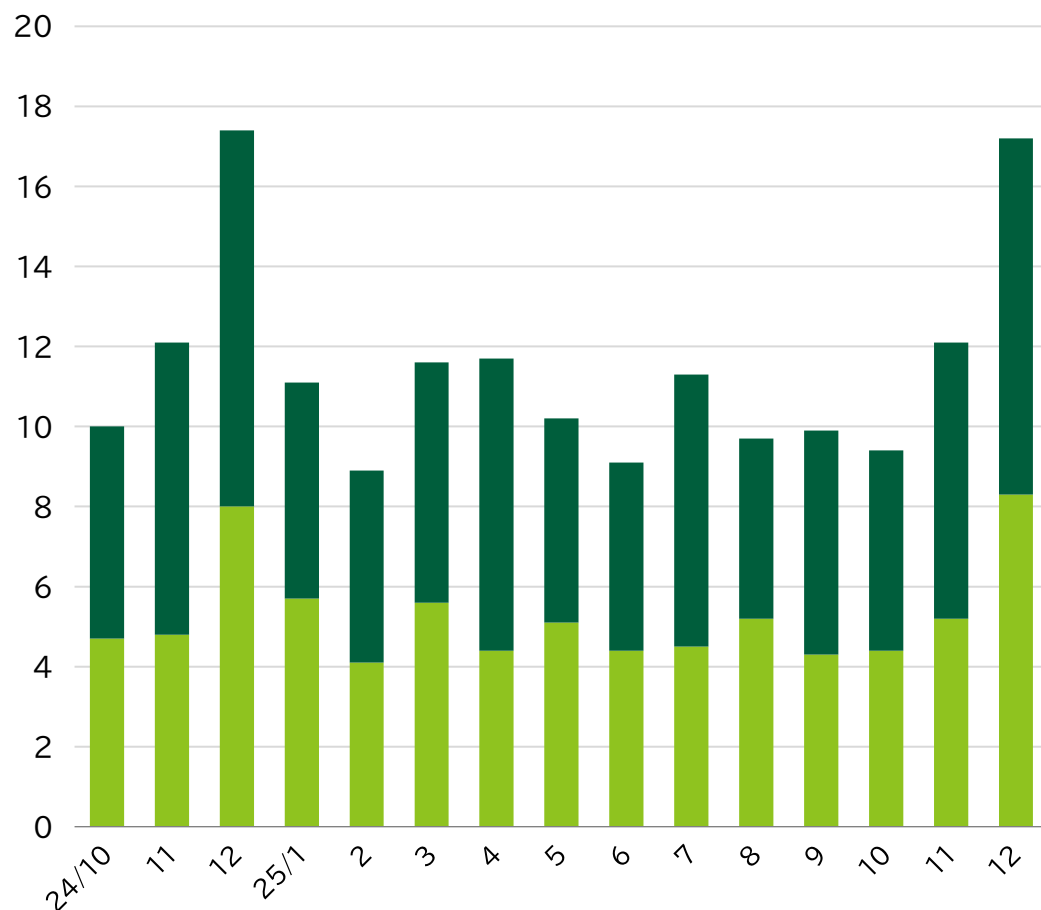
※1 当社グループは、開店後18カ月以上経過した店舗を「既存店」としております。 ※2 各年度期首で開店後18カ月以上経過している店舗を対象に売上高・客数・客単価の昨対比を計算しております。

## 販売チャネル別業績（店舗・EC）

月次売上高（店舗）

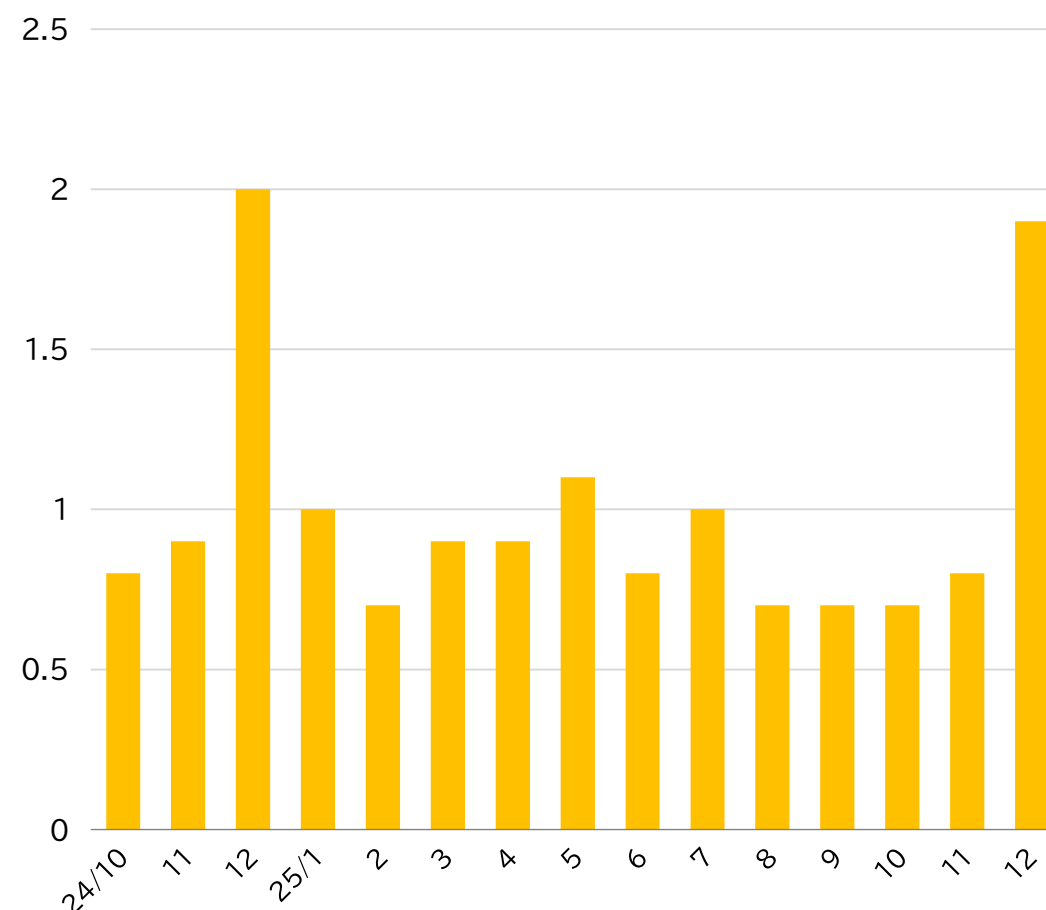
（単位：億円）

■直営 ■FC



月次売上高（EC）

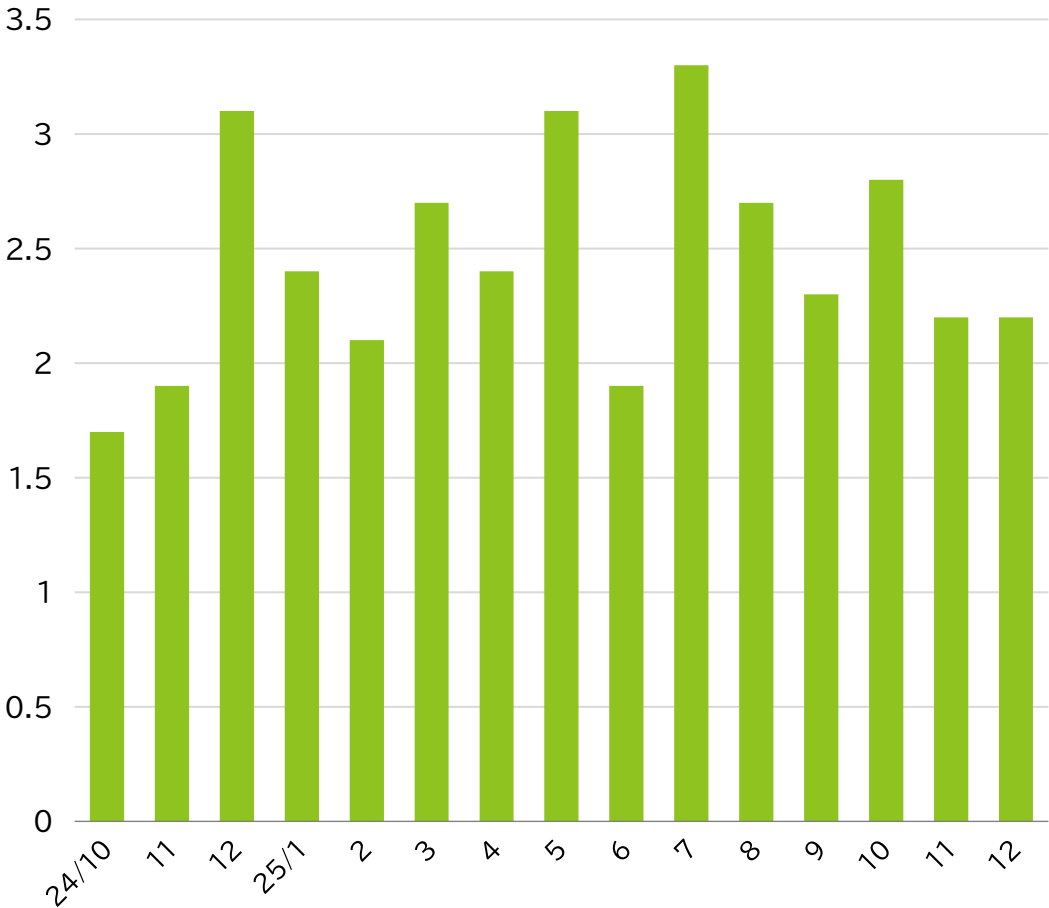
（単位：億円）



# 販売チャネル別業績（ホールセール・グローバル）

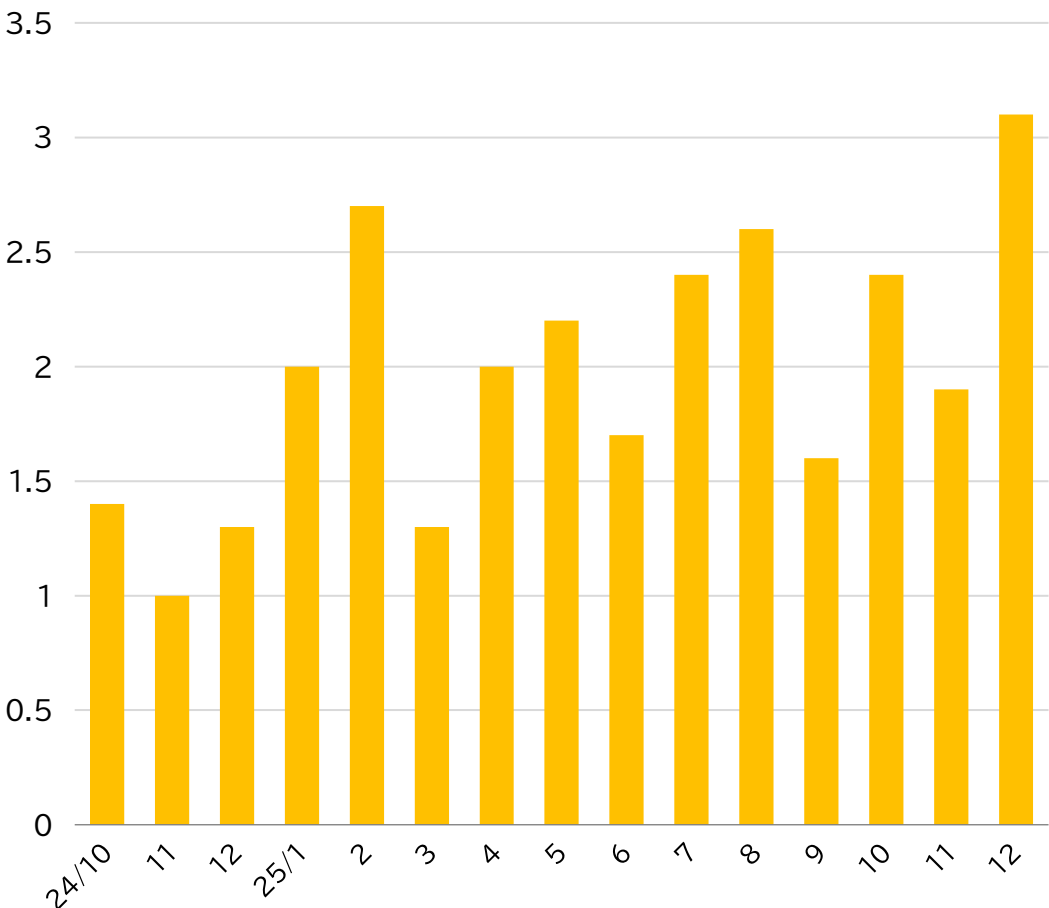
月次売上高（ホールセール）

（単位：億円）



月次売上高（グローバル）

（単位：億円）



過年度四半期連結業績

(単位:千円)	2026年3月期							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高	4,781,198	100.0%	4,894,879	100.0%	5,735,682	100.0%		
売上総利益	1,732,132	36.2%	1,743,880	35.6%	2,085,421	36.4%		
営業利益	139,289	2.9%	125,117	2.6%	375,653	6.5%		
(単位:千円)	2025年3月期							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高	4,597,296	100.0%	4,611,672	100.0%	5,439,383	100.0%	4,818,907	100.0%
売上総利益	1,594,191	34.7%	1,595,602	34.6%	1,922,276	35.3%	1,667,573	34.6%
営業利益	87,301	1.9%	148,069	3.2%	379,328	7.0%	221,295	4.6%
(単位:千円)	2024年3月期							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
		構成比		構成比		構成比		構成比
売上高	4,806,138	100.0%	4,212,860	100.0%	5,285,263	100.0%	4,858,655	100.0%
売上総利益	1,933,554	40.2%	1,621,506	38.5%	1,885,250	35.7%	1,613,436	33.2%
営業利益	502,632	10.5%	243,836	5.8%	341,528	6.5%	201,194	4.1%

2026年3月期 連結決算 販売チャネル別売上高

(単位:千円)	3Q累計期間(2025/4~2025/12)					3Q会計期間(2025/10~2025/12)				
			前年実績		前年 同期比			前年実績		前年 同期比
		構成比		構成比			構成比		構成比	
直営	4,635,906	30.1%	4,665,445	31.8%	▲0.6%	1,809,625	31.6%	1,760,620	32.4%	2.8%
FC	5,516,378	35.8%	5,670,693	38.7%	▲2.7%	2,095,192	36.5%	2,220,860	40.8%	▲5.7%
EC	904,639	5.9%	958,717	6.5%	▲5.6%	345,971	6.0%	379,670	7.0%	▲8.9%
ホールセール	2,336,123	15.2%	1,908,019	13.0%	22.4%	736,840	12.8%	694,228	12.8%	6.1%
グローバル	2,018,712	13.1%	1,445,477	9.9%	39.7%	748,052	13.0%	384,003	7.1%	94.8%
合計	15,411,760	100.0%	14,648,352	100.0%	5.2%	5,735,682	100.0%	5,439,383	100.0%	5.4%

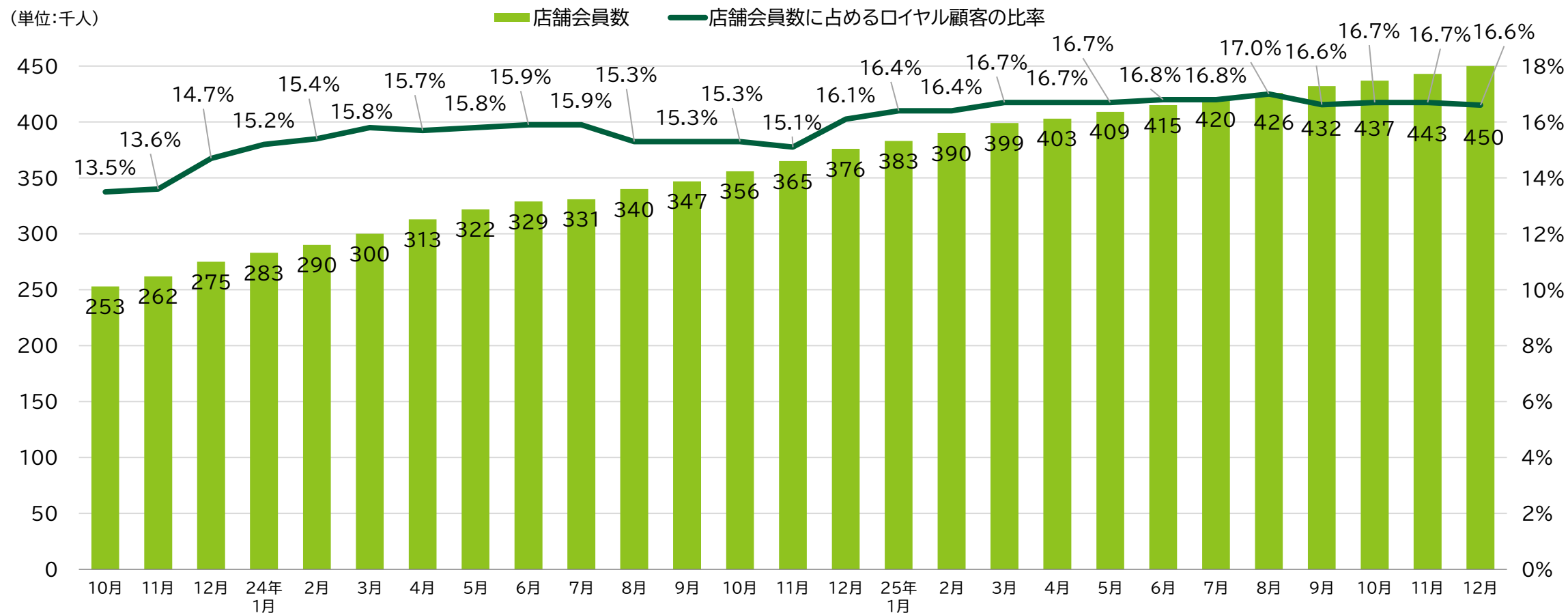
注. 前4Q数値に関して、外部監査法人による四半期レビューは受けておりません。

# 2026年3月期 販管費の状況

(単位:千円)	3Q累計期間(2025/4~2025/12)						3Q会計期間(2025/10~2025/12)					
			前年実績		前年 差異	前年 同期比			前年実績		前年 差異	前年 同期比
		売上 高比		売上 高比				売上 高比		売上 高比		
人件費	1,955,457	12.7%	1,812,356	12.4%	143,101	7.9%	665,394	11.6%	606,462	11.1%	58,931	9.7%
荷造運搬費	917,523	6.0%	984,009	6.7%	-66,486	-6.8%	335,184	5.8%	362,124	6.7%	-26,940	-7.4%
賃借料	459,129	3.0%	465,096	3.2%	-5,967	-1.3%	176,451	3.1%	177,077	3.3%	-626	-0.4%
減価償却費	197,749	1.3%	160,339	1.1%	37,410	23.3%	69,590	1.2%	53,401	1.0%	16,189	30.3%
その他	1,391,514	9.0%	1,075,569	7.3%	315,945	29.4%	463,147	8.1%	343,882	6.3%	119,265	34.7%
合計	4,921,374	31.9%	4,497,370	30.7%	424,004	9.4%	1,709,767	29.8%	1,542,947	28.4%	166,819	10.8%

## 店舗会員数・ロイヤル顧客比率

店舗会員数・ロイヤル顧客比率 推移 ※1,2



※1 上記グラフはEC会員を含まない店舗をご利用いただいているお客様会員数を示しております。 ※2 当社公式アプリにご登録いただいているお客様会員のうち、基準日(各月末)から起算して7カ月間の購入金額の合計金額が当社が定める基準金額を超えるお客様会員を「ロイヤル顧客」と定義しております。

## 2026年3月期 第3四半期 新商品情報 | 久世福商店



酢田恭行監修

抹茶を嗜む大人のラテ

2025年  
11月発売

通年  
販売

<https://kuzefuku.com/?p=95756>



榮太樓總本舗コラボレーション

久世福どら焼き 塩つぶしあん

2025年  
11月発売

通年  
販売

<https://kuzefuku.com/?p=95973>



## 2026年3月期 第3四半期 新商品情報 | 久世福商店



型抜きバウム(干支午)

2025年  
12月発売



九条ねぎとごま油香る  
国産搾菜タルタル

2025年  
10月発売

通年  
販売

[https://kuzefuku.com/?page\\_id=13&eci\\_product=fk00293](https://kuzefuku.com/?page_id=13&eci_product=fk00293)

## 2026年3月期 第3四半期 新商品情報 | サンクゼール



信州果実の実りジャム  
メイポール&高坂

2025年  
10月発売

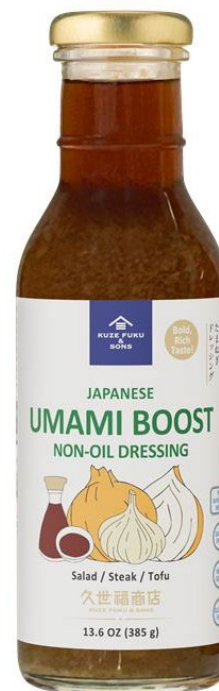
長野  
限定

# 2026年3月期 第3四半期 新商品情報 | SCI



Japanese Style  
Carrot Umami Dressing

Kuze  
Fuku &  
Sons



Japanese Umami Boost  
Non-oil Dressing

Kuze  
Fuku &  
Sons



Yuzu Orange Spread

Bonnie's



## 2026年3月期 第3四半期 新店舗情報



久世福商店  
イオンモール須坂店

長野県



久世福商店  
三井アウトレットパーク岡崎店

愛知県



久世福商店  
イオンモール東浦店

愛知県



サンクゼール  
三井アウトレットパーク岡崎店

愛知県